

月々600円で、退職時全額返金の
総合共済へ
 うれしい給付がいっぱい
 結婚 1万円 出産 5千円
 結婚記念日 2万円 など

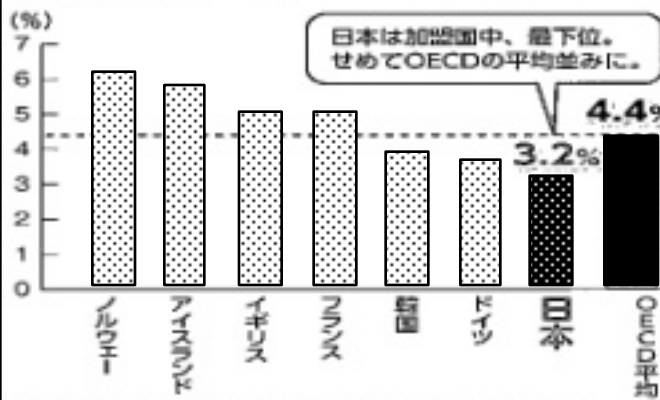
泉北教育

NO.2108 2018.5.7.
 発行 泉北教職員組合
 〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
 0725-41-1953 Fax0725-44-6570
 E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

教育予算をOECD諸国並みに増やせば、可能です

大企業と富裕層に応分の負担を求めることにより、教育に対する公財政支出（国と地方の合計額）の対GDP比をOECD加盟国の平均並みにすることは可能です。その予算があれば、幼稚園から大学までの教育無償化、給付奨学金の拡充、すべての学校での30人学級実現、臨時教職員の正規化が可能になります。

公財政教育支出の対GDP比（2014年）



出典：「図表である教育：OECDインディケーター2017」

が、未だ、小学校3年生以降への取り組みは進んでいません。しかし、多くの地方自治体では、父母、地域住民、子どもたちや教職員の願いをもとに少人数学級の前進を独自にすすめています。その結果、子ども

たちによりきめ細やかな対応やより行き届いた教育ができるようになってきています。ただ、和泉市・高石市・忠岡町は未実施であり、このまま自治体の努力に任せでは、自治体間格差が拡大し、教育の機会均等を保障することが困難になることは明らかです。



実現しよう！ 35人学級

国の責任による35人以下学級は、小学校1・2年生に広がりまし

かがやけ！みんなのえがお署名にご協力を！

広げよう！

えがお署名

子どもたちのえがおがふれ、豊かな学びができる学校づくりをするため2019年度政府予算にむけた文部科学省概算要求に対する要請署名を上げましょう。

えがお署名に

協力ください

えがお署名の主な内容
 教育の機会均等を保障するために、教育条件整備をおこなうこと。

国の責任で小・中学校および高校の全学年で35人以下学級を実現するために、教職員定数を計画的に改善すること。

障害児学校の過大・過密の解消をはかり、障害児学級の定数改善をおこなうこと。

東日本大震災・福島原発事故や自然災害などの被災地における子どもを守るため、学校と地域の復旧・復興をすすめること。

全教共済はうれしいとき、こまったときの心あたたまるとすけあいの制度です

総合共済

月々600円の掛け金で退職時には全額戻ります

総合共済に
 加入されている方
 お祝い金、お見舞い金の申請
 忘れていませんか？



退職

するとき
 加入から35年の場合
 掛け金合計
252,000円
 戻ってくる！

加入・お問合せは、
大教済まで
 Tel 06-6768-4326
 Fax 06-6768-9286

お祝い給付

- 結婚したとき — 1万円
- 出産したとき — 5千円
- 結婚記念日に — 2万円
（満15年・25年・35年のいずれか1回）
- 独身の方に — 2万円
（加入期間10年以上かつ40歳以上の
 団員で慶弔給金を受けたことがない方）

お見舞給付

- 本人が亡くなったとき — 10万円+退会給付
（掛金全額）
- 配偶者が亡くなったとき — 3万円
- 子どもが亡くなったとき — 2万円
（未婚・未婚妻・25歳未満）
- 親が亡くなったとき — 1万円
（実父母・義父母・養父母を指しません。2回まで）
- 病氣療養見舞金 — 1万円
（連続して30日以上病氣欠勤。ただし給付は1年に1回）
- 火災見舞金 — 最高10万円
- 自然災害見舞金
（地震・噴火・津波を主とする）
 全壊・流失 — 10万円
 半壊 — 5万円
（地震災害の大規模半壊、30cm以上の床上浸水による
 損壊も含まれます）
 部分壊 — 1万円
（30cm未満の床上浸水および床上浸水による損壊も含まれます）
- 救助法適用見舞金 — 5千円

子どもたちのための最善の教育条件を確保するために泉北教組はがんばります。